

3月

木曜
定休

2024

日	月	火	水	木	金	土
25	26	27	28	29	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10 院長不在	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20 午前診療	21	22	23
24 院長不在 31	25	26	27	28	29	30

日曜・祝日は午前診療
トリミング 日 月 火 金 土

4月

2024

日	月	火	水	木	金	土
31	1	2	3	4	5	6 AM休
7	8	9	10	11	12	13
14 院長不在	15	16	17 午前診療	18	19	20
21	22	23 AM休	24	25	26	27
28	29 午前診療	30	1	2	3	4

4月は集合注射出張で院長不在日があります



ゆうメール

ひびき動物病院

かわらばん

2024年3月 第85号



↑

河津桜のお花見きました。イヌと車で出かける時にはいつもペット用のキャリーバッグも積んでいくのですが、現地についてみたら今回は臨時駐車場からのバス移動があり、キャリーバッグが活躍しました。ちよっとそこまでの外出でもキャリーバッグがあつてよかった場面が今までたくさんあります。普段から入れるように慣らしておくといいですよ。久しぶりの東名高速は、海老名パーキングで買った鱈のフライがとても美味しかったです。

こんにちは。岡田響です。気温差が激しいですね。雪が降ったと思ったらそのあとは汗ばむ日があり、もう春一番を感じる日があり、そしてまた寒いです。梅の花がだいぶ咲いています。花粉症もありますね。少しづつ春の準備をしないと、と、思っていたら、あっという間に3月で、また狂犬病注射やフィラリア予防など予防を始める時期となりましたのでご案内いたします。

ノミやマダニは気温が13度を超えると活動が活発になることが知られています。そうなんです。今年は暖かいので、13度を超える日はもう何日もありそうですね。だから、ノミやマダニの予防は、もうやっておいてもいいんですよ。お散歩で草むらがある場所を通る子は、どこにでもいる虫ですので、予防はやってあげればお散歩も気にせず、心配もいらなくなります。今一番メジャーなお薬はわんちゃんだと飲むタイプ、ネコさんだとつけるタイプですが、厳密に言えば、虫を寄せ付けなくなるのではなく、虫がついても弱って落ちる、ような仕組みになっています。わんちゃんのお薬は飲むタイプとスプレッドタイプはすっかり定番となっています。比較的みんな嫌がらずに食べてくれるのと、しっかりと効果を感じていますので、ずっと継続しておススメしています。

ネコさんのお薬は飲ませるタイプがないのでつけるお薬になりますが、つけるのが難しい子がいるので、簡単で効果的なものと、機能優先的なお薬とわけてお勧めしています。

予防に関して注意点として気にしてほしいのは、複数頭を飼育されている環境の場合、一度に全員で予防を実施することと、虫がついた後（感染後）の予防、という場合には、もう1回やっただけでは不十分で、複数回以上の予防が必要になることがある、ということです。

(毎月きちんとやっていければおおよそそれでOK。)

今年も5月末までは、フィラリア血液健康検査とお薬おまめとのセットで、それぞれ割引があります。また、血液健康検査と一緒に実施する場合は、8時間以上絶食してからの採血が一番正確ですので、数少ないチャンスをご用意ください。

*いつもと違うな？と感じたら、翌日にはご連絡ください。

ひびき動物病院 TEL045-832-0390
〒235-0045 横浜市磯子区洋光台6-2-17-102
午前9~12時 午後4~7時 受付30分前まで 予約制



ブログ

最近、母と2人で映画を観に行きました。『生きものつかまえてどうする?』という2冊組の本を買いました。生きものを育てるのが大好きで、いろいろ家に連れ帰って、は少し飼ってまた自然に戻してしまっているのですが、中には死んだりすることもある。この本のおかげで、生きものに、もっと優しく共存することができそうです。

母も私も基本一人で何でも楽しむタイプなので、あまり一緒にどこかに行くことが無かったのですが、今回たまたまお互いの時間が合ったので行ってきました。映画はもちろん、母のおしゃべりもとても楽しく、今度は私から声をかけようかな、と思いました。

片倉 石巻部

健康診断の結果はファイルに保存を

フィラリア血液健康検査の報告書は時代の流れでA4に統一になってきました。見やすいようにと保存しやすいように、を考えると、A4のファイルに挟んでいただくのがいいと思います。ペットとは直接お話ができないので、こういうデータはいざというときにヒントになるんです。ワクチンの証明書や、お薬を飲んで記録などは、ファイルが一つあれば、そこにみんなまとめられますね。やってみてくださいね。お薬手帳みたいに、当院では、領収書でも検査や薬剤の内容が大体わかるようにしています。

募金しました



能登半島地震のニュースなどで、ペットについても一時預かりや同行避難の現状などが報道されていますね。募金についてもたくさん窓口があって、どこに入れようか、とても慎重になっていました。石川県の獣医師から、令和6年能登半島地震動物対策本部がある、というのを聞いて、獣医師会が立ち上げた組織である、というのがわかったので、こちらへ少額の募金をしました。報道にもあるように詐欺被害が少なくないようで、この動物対策本部も、偽物が出たりしているみたいなのです。ホームページにも注意喚起が出ていました。皆さんも、あまり知らないところにお金を振り込むときは、よくよくご確認ください。被災者のペットを獣医師会員の動物病院に無償で1か月間預けられる、というシステムがあるようです。募金時にはすでに動物病院に預けられているペットも少なくないようで、預かりきれないほどの数になりそう、と言っていました（その後どうなったのかは、時期を見て聞いてみようと思います。色々情報を出すとそれがまた詐欺に悪用されることもあるようなので、今は聞きません）。決められた期限でどう解決していくのかを見守りながら、同時に私たちもどう備えていくかを考えていかないとはいけません。また、平時で元気にいられるときは、自分たちは元気に過ごさないとはいけません。そういう声もありますね。私たちは元気にいきましよう。災害時、ヒトはトイレが重要課題です。最近になって移動可能なトイレトレーラーが全国から導入され、大活躍しているそうです。そしてペットも専用のトレーラーハウスが石川県の避難所に設置されたとのこと。これはいいですね。避難訓練などでもあまりトレーラーの情報をもらったことはありませんでした。これがあるのとないのでは差が大きいのです。通常ペットにはここまで想定されておらず、よくある簡易的な折り畳みテントの中でケージで過ごす、という想定が多いのではないかと思います。正直これでは雨風をしのげないかもしれません。横浜でトレーラーが備えられるか？利用できるか？はあまり期待できませんが、知恵にしたいですね。横浜は人口が多いので、数的に限界があり、能登や熊本と同じようにはできない性質もあると想像します。コロナ禍で多くの地域防災拠点（洋光台は第1～第4小学校など）の訓練も中止されてきましたが、今年から再開される場所が増えてきました。機会があれば一度どんな状況なのかを確認し、自宅のペットは発災時はどうするのがいいのか？を考えていただくといいのではないかと思います。

Instagram

フードの日 (日曜日)

事前注文：月～水 購入：注文後の日曜日

10%割引で買えます。LINEで注文お気軽にどうぞ



HIBIKIAHST



LINE

うちの子エピソード ～じゅあくん手術しました！～

うちのじゅあくんはもうすぐ12歳になります。すっかりシニア犬です。最近では白内障で目が白っぽく見えるし、耳も遠くなってきました。脚も変形してきたし、口臭も・・・とちよいちよい気になるところが出て来たんです。

以前階段でつまずいて下の前歯を強打して1本ぐらぐらしていたのもあったので、そろそろ全身麻酔をしてお口の中をしっかりとキレイにしようとして術前検査を行いました。すると血液検査とエコー検査で異常が見つかりました。腸リンパ管拡張症という腸の病気です。食欲も元気もありましたが、少し体重が減っていました。今年の始め思い切って全身麻酔下で開腹し、腸を確認して針生検をしました。歯科処置と体のいくつかあったできものも切除しました。

腸はリンパ管が白く線状に拡張しているのが確認できました。口の中は1本だと思っていた前歯は4本もぐらついていて、痛かったでしょうね。これはもう抜歯するしかありませんでした。慢性の歯肉炎があって麻酔していないとできない歯周ポケットの奥までスクレーリングをしてとてもきれいになりました。特に問題なく手術は無事終了。麻酔から覚醒はしたものの、目を閉じてかなりぐったりしていたので「今日は点滴しなきゃいけないから、入院だよ。じゃあ、帰るね。がんばってね。」と帰ろうとした瞬間、ムクッと立ち上がり、ペットシーツをビリビリに噛みちぎり、怒り狂ったのです。えーっ！なににに！？起きてたんかい、ちゃんと聞いてたんかい！！と驚きつつシーツを変えて少し目を離れた隙に今度は点滴の管を噛み切ってしまう、点滴をダメにしてワンワン鳴き叫ぶ・・・。エリザベスカラーをしているのに、器用にやっちゃって。というわけで、家につれて帰ったのでした。

その後いつも通りに元気になるまで内科治療で一週間かかりました。ちょうど抜糸の頃、細胞診の病理診断結果が帰って来ました。悪性所見は観察されず、リンパ管拡張症による脂肪肉芽腫性リンパ管炎の疑いとのことでした。その他のできものは幸い悪いものではありませんでした。

腸リンパ管拡張症

何らかの原因でリンパの流れが詰まり、リンパ管が拡張して機能不全を起こす病気。リンパ管から腸内にタンパク質が漏れ出てしまうので、低蛋白血症になります。先天性と後天性がありますが、犬では主に後天性です。腸管に炎症が起こり腸内のリンパ管が詰まって拡張してしまうものが最も一般的な原因です。

症状は食欲不振、体重減少、慢性の下痢などです。低蛋白血症が進行すると腹水や胸水が溜まったり浮腫を起こします。残念ながらこの病気は根本治療はなく、低脂肪食の食事療法や腸炎を抑える内服薬で維持していきます。

じゅあくんは体重減少していたのと、年に1、2回夜中に下痢や嘔吐することがありましたが、一番怪しいのは異物の誤食です。今回検査で引っ掛かる数ヶ月前にお恥ずかしながら、ビニールなどの異物を食べてしまい、その後しばらく胃腸の調子を崩していたのです。それがきっかけで慢性腸炎を引き起こしていたのではないかと推測されます。じゅあくんはシニアになって分離不安傾向になりました。みんなが出かけた後、ゴミを漁ったり猫のご飯を食べちゃったり、してはいけないところでおしっこをわざとしたりするようになったんです。今までは絶対そんな事はしなかったのに、歳をとってからの変化で不安が強くなったり我慢ができなくなる行動が認められるというのは他の患者さんからもたまに聞く話です。皆様もどうぞご注意ください。追伸、口腔処置とお口の漢方で今はすっかり口臭が消えました。

かわらばんやメールなど当院からのお知らせが不要な方はこちらのQRコードスキャン画面よりお知らせください。(HPトップページの下部からも解除画面に行けます)ご連絡いただきましたら速やかに停止させていただきます。

